



第16号

2007・11

江南市国際交流協会
Konan Society for Internationalization

第12回 国際交流フェスティバル

～見つけてみよう世界のともだち
来て、見て、出会う、世界の輪～

8月19日(日) すいとびあ江南

2,500名の市民や外国人の皆さんが会場を訪れ、インド古典舞踊や、パラグアイハーブの演奏、各国の人とのおしゃべりコーナー、日本の伝統文化(お茶席体験や能楽)に触れるなど様々なイベントで、多文化交流を楽しみました。

また、フェスティバル内限定で利用できる通貨「ふくら」や子ども向けのスタンプラリーなども、多くの参加者が利用しました。



多目的ホールでは、ブラジル校の生徒たちによるダンスや愛知江南短大生の和太鼓など市民参加の楽しいイベントが続きました。



ペルーの民族舞踊グループ「トラディション」の皆さんは、華麗なダンスを披露しました。



「外国のことをもっとよく知ろう」と企画されたお国自慢横丁では、中国やタイ、ベトナムなどの人たちと来場者が会話を楽しみました。



折り紙や竹とんぼ、押し花、まゆ人形などの「ものづくり体験」では、大人も子どもたちも楽しく参加しました。



フレンドシップ国の子どもたちに贈る絵には360点の応募があり、当日展示を行いました。後日現地に送付いたしました。



屋外では外国人の皆さんも参加した世界の料理コーナーやフリーマーケットが出され、多くの人で賑わいました。



今年も多くの中高生ボランティアが参加し、参加者への案内などを頑張りました。恒例の「みんなでおどろ！」でも、楽しく交流をしました。

5月26日(土) 江南市民文化会館

多くの会員・ボランティアが集まり、総会が開催されました。

栗本会長のあいさつ等について議事が進行し、終了後は、2006年度市民海外派遣団の団員が、北京近郊の農村で行ったホームステイを通しての交流や、学校訪問などの報告が行われました。現地の教育や農業の事情など会場からも質問が相次ぎ、お隣の国への関心の高さを感じさせました。



総会の様子



市民派遣団の報告

国際理解・ボランティア入門講座

7月8日(日) 江南市民文化会館

多くの方に協会の活動を知っていただくため、日本語教室や子ども塾などでボランティアとして参加中の皆さんが日ごろの活動の様子の報告を行いました。また、日本の着物に似た民族衣装「ゴ」を着たブータン出身のウルゲン・ドルジさんからは、トラなどの野生動物が生息していたり、道路にガードレールがないために転落の危険があり、深夜は外出ができないなどのエピソードを交えて、山岳地域にあるブータンでの日常生活のお話がありました。その後、協会がホームステイを受け、滞在中だった中国マカオ大学の学生から、数多くの世界遺産があるマカオの文化や歴史について紹介がありました。

講座の終了後は各国のおやつを食べながら、交流会を行いました。



ウルゲンさんによる、ブータンのバター茶のいれ方実演



マカオ大学の学生とも交流を深めました。

ようこそKONANへ!

- ① 江南市の印象 ② 趣味・特技 ③ メッセージ

Rosa Makino Crespoさん(ペルー出身)

- ① 静かですごく住みやすい所。子供達もここでの生活に慣れているので、ずっと江南市に暮らしたい。
- ② 海で泳ぐこと。子供達と川で遊ぶのも大好き!
- ③ 家族と一緒に過ごすことが一番大切。家族のために一生懸命頑張ります!!



王丹さん(中国出身)

- ① 交通の便がよく、きれいな街。人が優しい。
- ② 旅行、映画鑑賞、グルメ。
- ③ 日本語が上手く話せるようになりたいです。



ゴラビ アミールさん(イラン出身)

- ① 市民が優しく、落ち着いたきれいな街。
- ② 空手、ロッククライミング、バイク。
- ③ 地球のために、資源のリサイクルをしています。



国際理解・多文化共生を目指して

協会では、外国人と「共に生きる社会」をめざし、お互いの理解を深めるため、さまざまな交流事業を行っています。

外国人無料医療相談会

7月29日(日) 宮田学習等供用施設



NPO法人 外国人医療センターとの共催で、初めて開催しました。医療センターの医師、歯科医、看護師の皆さんや江南市保健センターの保健士の方に協力いただき、50名の外国人が医療相談や健康診断を受けました。「来日以来、言葉の壁もあり、病院に行ったことがなく不安だったが、相談ができ、嬉しかった」という声が聞かれました。

外国人生活相談講座

9月16日(日) 宮田学習等供用施設



社会保険労務士の八橋昭郎さんを講師に迎え「外国人の社会保障について」と題して講座を開催しました。出席した30名の外国人は、ポルトガル語やタガログ語などのボランティア通訳を介して、健康保険や年金、労働、福祉などの社会制度について熱心に耳を傾けました。「知らないことがほとんどで、勉強になった。」という感想が聞かれました。

江南七夕まつり・市民サマーフェスタ

8月3日(金)～5日(日)

恒例になった阿波おどり大会に、今年度も90名が参加し、外国人の皆さんも浴衣を着て、日本の伝統文化に親しみました。また、愛栄ふれあいプラザで「世界のお茶コーナー」などのブースを出し、多くの来場者に協会PRを行いました。



フラワーパーク江南 開園ステージ

10月14日(日)

子ども塾の生徒たちが、ソーラン節をアレンジした踊りを披露しました。子ども塾では、放課後に外国籍の子どもたち23名が、ふくらの家(火・金)と江南団地第2集会室(木)で、日本語の習得や学習に励んでいます。



国際交流クッキング教室

6月17日(日) 布袋ふれあい会館(セネガル料理教室)

アフリカにあるセネガル出身のモクターールさんの指導で、マフェ(チキンのカレー)やファタヤ(春巻)を作りました。参加した30名が現地の家庭の味を楽しみながら、セネガルへの理解を深めました。

INFORMATION

賛助会員を募集します。

江南市国際交流協会(KSI)では、国際化、国際交流に関心のある方のご入会をお待ちしております。

●入会資格

本協会の趣旨にご賛同いただける個人・法人・団体(市外の方も可)

●賛助会費(年額)

個人	1口	2,000円
法人	1口	10,000円
団体	1口	5,000円
※1口以上何口でも可		

●申込方法

直接、協会事務局へお越しいただくか、電話でお問い合わせください。国籍は問いません。

ボランティアを募集します。

江南市国際交流協会(KSI)では次のようなボランティアに興味のある方、又ご協力いただける方の登録を随時受け付けます。

- ① 日本語教室ボランティア
 - ② 外国人児童学習支援ボランティア
 - ③ 通訳・翻訳ボランティア
 - ④ 事業ボランティア
(国際交流フェスティバルなどイベントの準備や運営)
- 広報・情報誌・PRボランティア
 - クッキング教室ボランティア

日本語教室の場所

……月曜日教室……

江南市老人福祉センター 江南市中央コミュニティセンター

江南市古知野町宮裏121番地
TEL 0587(54)9300

毎週月曜日
19時～21時



……日曜日教室……

江南市立宮田地区学習等供用施設

江南市後飛保町平野75-1
TEL 0587(57)0400

毎月第2・第3・
第4・第5日曜日
(初級クラス)
13時～15時

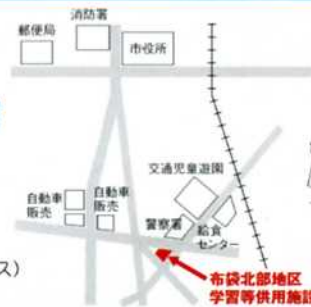


……金曜日・日曜日(夜間)教室……

江南市立 布袋北部地区 学習等供用施設

江南市木曾町新聞278番地
TEL 0587(54)5535

毎週金曜日
19時～21時
毎週日曜日(中・上級クラス)
19時～21時



ふくら 江南市国際交流協会ニュース

2007年11月発行

発行: 江南市国際交流協会

〒483-8701 江南市赤童子町大堀90

江南市役所 企画部行政経営課内

TEL (0587) 54-1111 FAX (0587) 54-0800

国際交流協会のホームページ

<http://konansi.web.infoseek.co.jp/>

江南市国際交流協会

検索

ふくらの家での活動

ふくらの家は、子ども塾をはじめ、中学生への国際理解講座、在住外国人の生活相談、市民への外国語講座など、在住外国人と市民とのふれあいの場として活用されています。ぜひお立ち寄りください。

(江南市古知野町古渡142-2 電話0587-56-7390
Eメール fukura@feel.ocn.ne.jp)

ふくらの家
の
案内
図

